

世界的株安再び - 欧米金融政策による流動性供給策も歯止めとならず

- 世界的株安が再び市場を席卷
- 米欧金融政策による流動性供給策も歯止めとならず
- 相場転換点予想は危険。まずは傷を浅くする投資姿勢を

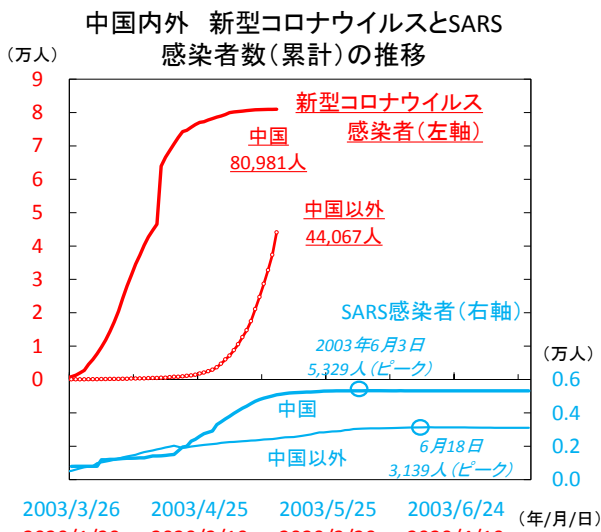
■ 世界的株安再び

12日、世界の株価は再び大幅下落に見舞われました。日経平均は前日比▲4.41%、中国上海総合株価は同▲1.5%、独DAXは同▲12.3%、ブラジルボブスパ指数は同▲14.8%となりました。そして、米S&P500株価指数は同▲9.5%、序盤からサーキットブレーカー（取引一時停止）が発動された他、ECB（欧州中央銀行）、米FRB（連邦準備理事会）は巨額の流動性供給策を発表・実施するも歯止めにはなりません（図1）。米トランプ大統領が11日（現地時間）発表した欧州からの入国制限（30日間）やWHO（世界保健機関）による新型肺炎ウイルス（COVID-19）のパンデミック（世界的大流行）宣言等、もはや制御は難しく世界的な景気後退は不可避、との見方から売りが売りを呼びました。

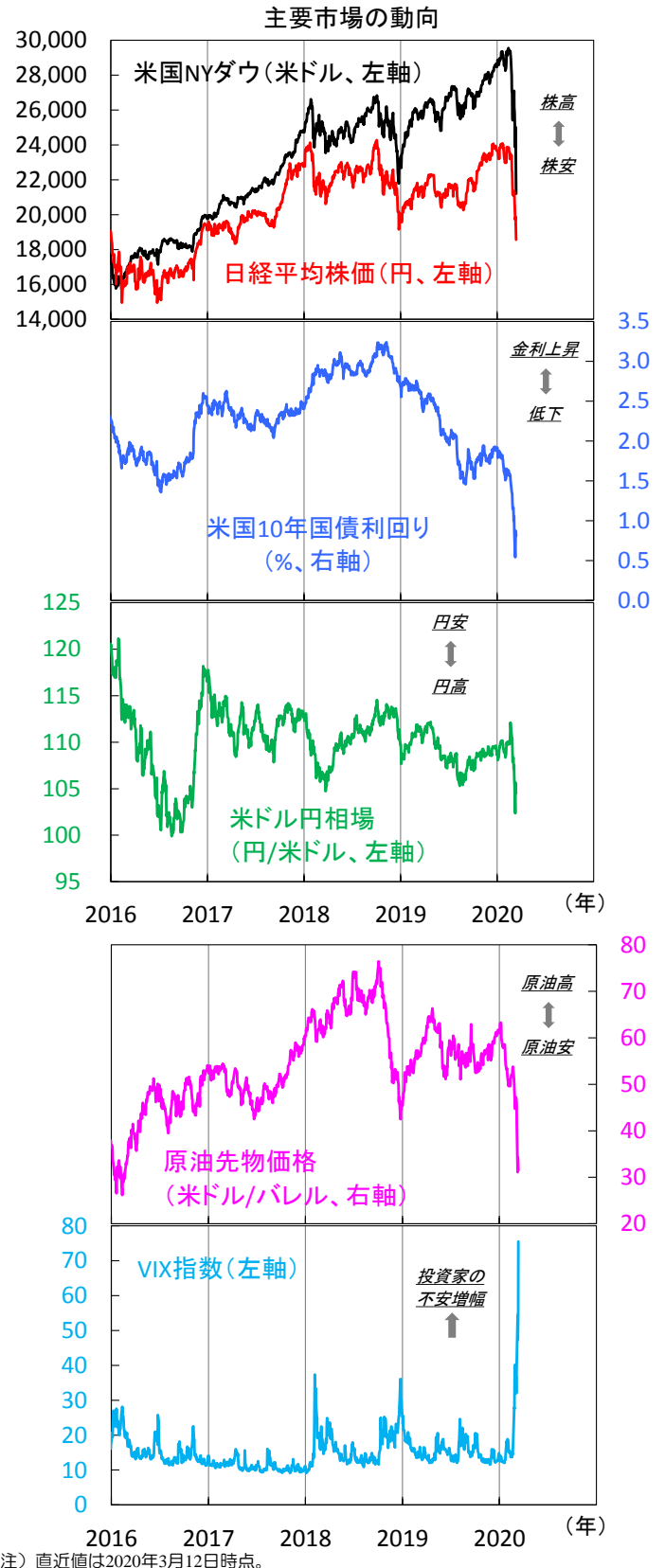
■ 相場転換点の予想は困難。まずは止血を

先週、COVID-19が米国に本格上陸し新たな局面を迎えた金融市場、この先はドル資金取引や債券市場等、取引相手の信用リスクを懸念し取引を控え「流動性が枯渇」する可能性が危惧されましよう。今次局面では、相場の転換点予想に基づく逆張りの投資姿勢は極めて危険、まずは傷を少しでも浅くする姿勢が肝要と思料します。（徳岡）

【参考】 新型肺炎の感染者数は世界的に増加



【図1】 金融市場でのリスク回避の動きは継続



本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

- 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
- VIX指数は、シカゴ・オプション取引所が所有する登録商標です。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会